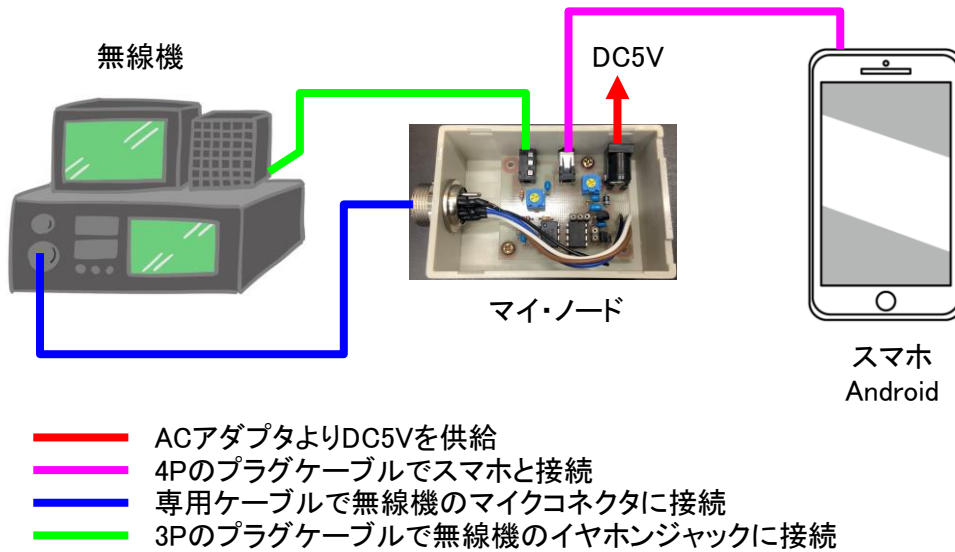


マイ・ノード接続について

Voipリンク研究会

接続

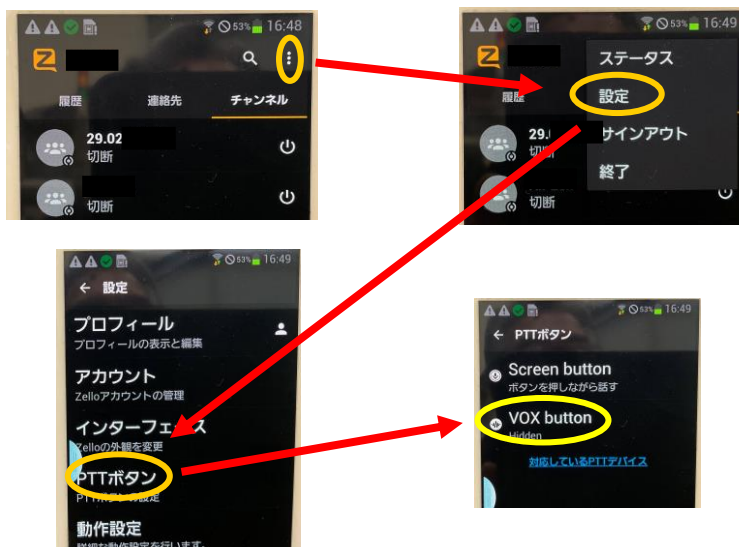


スマホにZelloをセットする

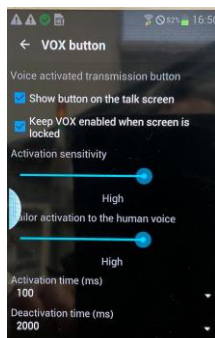
スマホはノード用のスマホとアクセス用のスマホを各1台ずつ用意し、ノード用はAndroid以外は使えません。
アクセス用はiosでもWindowsで何でもOKです。
それぞれに通信アプリのZelloをダウンロードして、設定しますが方法はネット上に詳しく説明としているサイトが多く有るのでそちらを参考にして設定します。
アカウントはノードとアクセス用に2つ必要で、コールサインを使いJA1O×△やJA1O×△NODE等と判りやすいものを作ります。
これらのアカウントを双方のスマホにセットして、相互に通話できるに状態まで設定します。

Voxを設定する

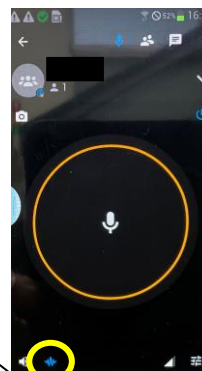
ノードになるスマホにはVoxを設定します。
方法は下記の順に従って設定します。



Voxは下記のように設定する。



これがVoxスイッチで
青い時に有効で、
ノード使用時は常に
ONにしておく。



(注意)

スマホにプラグケーブルでマイ・ノードが接続されると、スマホのマイクはOFFになりマイ・ノード側に切替わりますが、プラグをくとスマホのマイクがONになり、周囲の音声にVoxが反応するとZelloは送信状態となります。スマホのプラグを抜くときは**必ずVoxをOFF**にしてください。

Zelloには遅延が発生しますがこれはVoipによる通信アプリの特徴で、この辺を理解して少し間を置いたQSOをするようにしてください。

調整

無線機からスマホへの音声の調整では、無線機のボリュームを少し上げてスケルチを開いて、ザーと言うノイズをスマホに送ります。Voxが反応してリングが赤くなり送信状態になります。アクセス用のスマホでこの音を受信して聴きながら音量を調整します。Voxの動作確認はスマホの4Pプラグを抜いて、スマホのマイクに話し掛けて送信すればOKですが、だめなときは設定を確認してください。

今度はスマホから無線機への音声の調節です。アクセス用スマホより送信してノード用のスマホで受信すると、マイ・ノードのVoxが動作して無線機が送信します。この送信された信号を別の受信機で聴き音量を調整しますが、この時のVoxのディレイタイマーは2.5秒に設定されていますので、受信を終了すると無線機の送信は2.5秒後に停止して受信に戻ります。尚、受信機にTOTimerの設定が有る場合は、万一のトラブルで連続送信を避ける為3分位に設定しておきます。

これらの調整を繰り返し行い実際の他局に聞いてもらったりしながら、一番良い変調レベルのところセットします。これで調整は終り運用できる訳ですが、電波法やマナーを遵守し運用するようお願いします。

ノード局用無線機の名義について

マイ・ノードとスマホを接続してノード局となる、無線機の名義は当然自分の名義のはずですが、他局がスマホからアクセスしてこのノード用無線機より送信する事は他人の無線機を使って運用する事となり違法となりこのような使い方をしたい場合は、ノード局となる無線機を社団局で登録しておく事により、ゲストオペとして第3者が送信する事も可能となります。